

# 経営強化指導計画

(金融機能の強化のための特別措置に関する法律第33条)



《ダイジェスト版》

2024年6月



全国信用協同組合連合会

## 1. 経営強化指導計画の策定にあたって

当会は、山梨県民信用組合が地域の中小規模事業者や個人の皆様に対する資金供給を担う重要な金融機関であるという認識の下、2009年9月に当会の資本増強支援を行うにあたり、財源面の支援として金融機能の強化のための特別措置に関する法律を活用いたしました。

こうした資本増強により、山梨県民信用組合の財務基盤の充実と金融仲介機能の強化が図られ、これまで以上に地域の中小規模事業者や個人の皆様に対する信用供与の維持・拡大と各種サービスの向上がなされることとなりましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、社会経済活動の正常化が進みつつある一方、コロナ禍の資金繰り支援である無利子・無担保融資の返済が本格化するなか、物価高騰や人手不足の影響などもあり、中小規模事業者や個人事業主の皆様にとっては、依然として厳しい状況が続いております。

当会といたしましては、山梨県民信用組合が、地域の中小規模事業者や個人の皆様に対しまして、充実した金融仲介機能の発揮を通じて地域経済の再生・活性化に資することができるよう、信用組合業界の系統中央機関として、「経営強化指導計画」に基づく強力な指導を含め、全面的かつ万全な支援を行ってまいります。

## 2. 前計画の総括

当会では、2021年4月から2024年3月までの3か年において、前経営強化指導計画に基づき、山梨県民信用組合の計画達成に向けた取り組みへの指導を行ってまいりました。

この間、山梨県民信用組合は、収益増強策として融資中心の営業を展開したことにより、貸出金利息を増加させております。経費面では最終年度は計画を若干上回ったものの、店舗政策や業務の効率化を着実に進め、コア業務純益については3か年いずれも計画を大幅に上回る水準を確保しました。

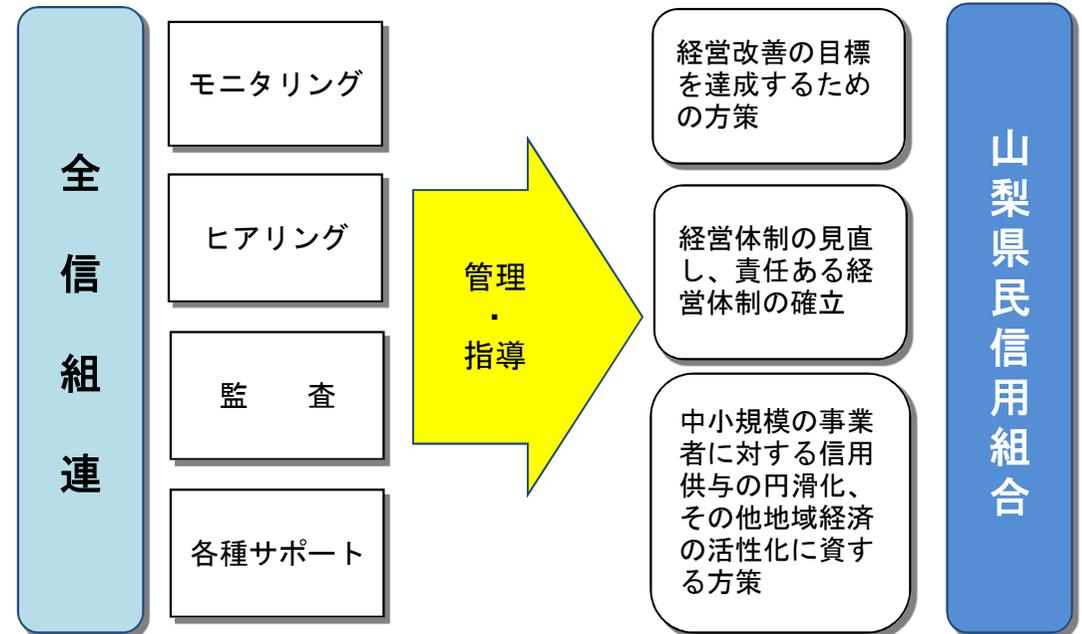
当期純利益につきましても、いずれも黒字を確保、3年間の累計では計画を達成しました。もっとも、単年度ベースではほぼ毎期与信関連費用を計上せざるを得ず、年度によっては、計画未達となる期もあるなど、安定した収益水準を欠く結果となりました。

当会では、山梨県民信用組合の各部署ならびに人的支援策として当会より派遣した常勤役員をはじめとする組合経営層とも連携し、安定的な収益基盤の構築にむけ、詳細なヒアリングやモニタリングを通じ経営強化計画の進捗管理に努めていくとともに、きめ細かな指導・助言を行ってまいります。

併せて、当会の所管営業店や当会本部各部とも連携し、リスク管理・運用面を含めたサポート体制の整備・強化に取り組むことにより、新たな経営強化計画の達成を図ってまいります。

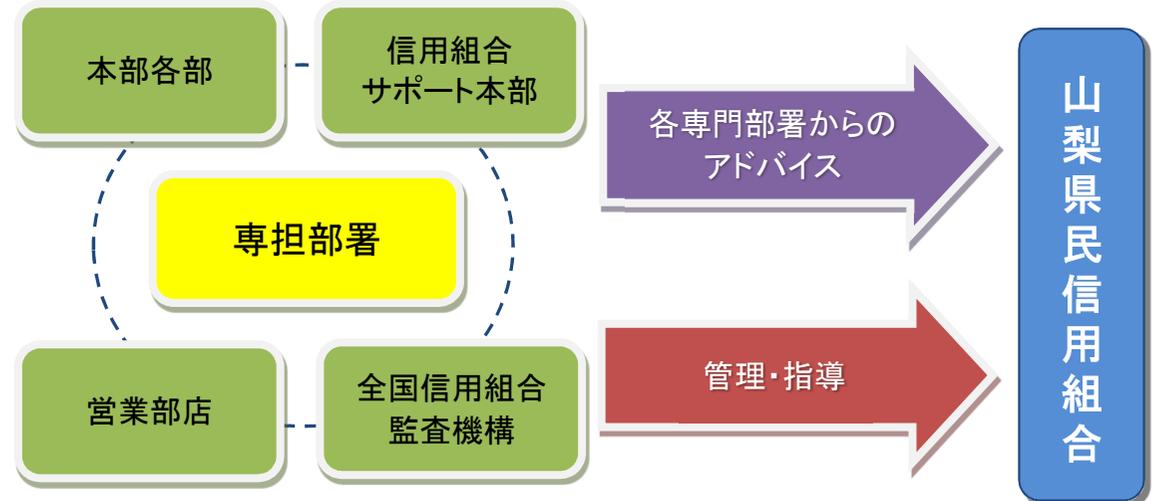
### 3. 経営指導方針

- (1) 山梨県民信用組合の経営強化計画の着実な履行をサポートするとともに、中小規模事業者への金融円滑化や地域経済の活性化に向けた取り組みについて、適時・適切に指導してまいります。
- (2) 山梨県民信用組合が経営強化計画に沿って確実に利益剰余金の積み上げを図り、優先出資の返済が計画どおりなされるよう、最大限の指導を行ってまいります。



### 4. 経営指導体制

専担部署が信用組合サポート本部、本部各部、管轄営業部店および全国信用組合監査機構と連携しモニタリングやきめ細かな指導・助言を行ってまいります。



## 5. 経営指導のための施策

### ①経営強化計画の進捗管理

- ・ 履行状況報告等を通じた進捗状況の管理と指導の実施

### ②モニタリング、ヒアリング

- ・ 経営状況やリスク管理状況に関する定量・定性的な分析を通じた状況把握と指導の実施
  - 「トップとの協議」、「定期ヒアリング」、「所管部署別ヒアリング」、「出向者協議会」等

### ③経営改革協議会

- ・ 経営改革の早期かつ円滑な実現、安定的な収益体質の確立をサポートするため設置した協議会を通じ、指導・関与を強化

### ④全国信用組合監査機構による検証・指導

- ・ 全国信用組合監査機構の監査により、経営実態把握と経営改善に向けたアドバイスの実施

### ⑤計画達成に必要な措置

- ・ 経営態勢強化を図るため、必要に応じた人的支援の実施
- ・ 取引先の事業再生支援に向け、各関係団体との連携強化や「しんくみりカバリ」の活用等によるサポートの実施
- ・ 資金運用をサポートするため、随時相談に応じるほか、必要に応じた指導・助言等を実施

## 6. 当会が保有する信託受益権の額及びその内容

### (1) 信託受益権の額

劣後信託受益権 128億円

### (2) 算定根拠

山梨県民信用組合の財務基盤の強化を図り、適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮が可能となる額

### (3) 内容

1	信託	山梨県民信用組合優先出資証券信託受益権
2	受益権形態	有価証券等の包括信託契約に基づく受益権
3	信託設定時元本	128億円
4	劣後配当の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績配当（非累積）</li> <li>・信託有価証券等により生ずる配当金、利息その他これに準ずる収益から以下を控除した額               <ul style="list-style-type: none"> <li>①優先受益権配当</li> <li>②信託借入金利息</li> <li>③優先受益権配当準備金積立金</li> <li>④信託借入金元本返済金</li> </ul> </li> </ul>
5	信託設定日	2009年9月30日
6	受益権譲渡日	2009年9月30日
7	信託予定期間	25年（延長可能）
8	議決権行使	信託財産が保有する優先出資証券の総議決権数のうち、総受益権元本に対する残存優先受益権元本の割合に応じた数とする

～金融機能強化法を活用したスキーム(信託方式)～

